

おなっぴ

さりげないスナップ写真のすてきな笑顔のように
群馬の教育や文化の話題を、ふだん着のままで紹介するシリーズ



新たな飛躍に向けて NIPPON語学院に学ぶ留学生たち

「NIPPON語学院」とは

前橋に「NIPPON語学院」(NIPPON LANGUAGE ACADEMY)があるのをご存知ですか？群馬県庁前の大通りに面した4階建てのビルにあります。1990年11月に創立された群馬県内で最初の日本語学校で、広くアジアからの留学生を受け入れ、卒業後は日本の大学・短期大学・専門学校への進学を目的にしています。授業は月曜日から金曜日、午前クラスと午後クラスに分けて、週20時間。入学時のクラス分けテストによって、初級、中級、上級のコ

ース別に学んでいます。年4回(1月、4月、7月、10月)新入生募集を行っていますが、日本語の基礎的学力があることが応募資格ですから、長くて2年、最短は1年3ヶ月で卒業し、上級学校への進学目的を達成しています。現在394名の学生が学んでいます。最近是中国からの留学生が多くなりました。(352名)

学院のパンフレットには、「世界の平和と繁栄を理念とし、県都前橋市に理想を求めて設立した総合語学校であり、若いエネルギーな力を、愛と平和に大志を抱く学生達を世界に求めていきます。」とうたっています。

なぜ、前橋に？

なぜ、前橋に？学院長の清水澄さんは群馬ロイヤルホテルの社長でもあり、「東京から近く、自然環境が豊かな観光地・群馬県の前橋は、生活費が安く生活環境も良くて安心して勉強できます」と自慢しています。学院の行事の中に、スピーチコンテストや日本語能力試験だけでなく、お花見、スポーツ大会、七夕、花火大会、



左端はタイから留学している若い僧侶

前橋祭り、着物フェスティバル、初市などがあります。

これは学院長のネットワークを生かして「地域の企業及び住民の支持を得て、積極的に社会活動へ参加し、地域密着型の日本語学校として国際交流促進を」という方針のあらわれでしょ



真剣に楽しく学ぶ学生たち

う。「日本には『おもてなし』の文化がある。もっと多くの留学生を呼び、さらに彼らを通して群馬に観光客を呼びたい。」という学院長の抱負は、今年4月「NIPPON おもてなし専門学校」開校へと発展しているようです。



言語を教えることが好きと言う金井先生

熱気と笑い声がまじる授業をのぞいてみました

初級クラスと中級クラスの授業を見学させてもらいました。担当の金井令子先生と一緒に取材班3名が入室。普通の学校の教室の半分ほどの広さの部屋に20人ほどの学生がいて一斉に私たちを注目します。「取材させてもらいます。よろしくおねがいします」と挨拶すると笑顔で「よろしくおねがいします」と答えてくれました。

初級クラスは「使役の受け身」

初級クラスは7月に開講して5ヶ月の学生たち。今日の授業は「使役の受け身」。我々日本人も学校で教えられた覚えがないことを教えられています。先生が使役表現を示すと生徒が受身形に直して答えます。

先生は子どもを泳がせました→

子どもは先生に泳がさせられました

上司は私に仕事をさせました→

私は上司に仕事をさせられました

という具合。みなさん、初級とは思えないくらいにしっかりと答えています。先生は「…させられました」の表現には「いやな気持」がとも

なうと説明していました。初級クラスにしては込み入った表現を勉強しているけれど決して複雑な日本語文法には踏み込まず、たくさんの例文を口に出して練習することで身につけることを目指しているようでした。

中級クラスは「アパート探し」

学生が不動産屋でアパートを探す場面を設定し、会話の練習が展開されました。

学生：あのう、すみません。3万円以下のアパートをさがしているんですけど。

(「…んですけど」は会話をつなげていく表現です、と先生の説明が入る)

不動産屋：この2万8千円のはどうですか。

学生：あっ、安いですね。でもトイレは共同ですか。

不動産屋：ええ、そうなりますね。

学生：あのう、できたらトイレ付きがいいんですけど。

不動産屋：この3万8千円のはトイレもシャワーもありますよ。

学生：うーん、でもちょっと高いですね。3万

円までにおさえたいんですが。

と、こんな具合。アパート探しという現実的な話題に学生も真剣な表情。いくら位のアパートがいいですか？と先生に質問された学生さんが「2万円以下」と答えて教室は笑いに包まれ

ました。学生の日本語習得に対する切実な思いと先生の巧みな指導術がかみ合って、緊張感が緩むことなくあっという間に50分が過ぎてしまいました。

明るい未来を感じさせてくれた座談会

12月18日(火)、ぐんま教育文化フォーラムの部屋で座談会をもちました。NIPPON語学院からは、4名の留学生(上級クラスの学生さんたち)と卒業生1名そして学院の職員・坂上紗由美さん(今回の取材で学院との連絡・お世話役を務めていただきました)。フォーラムからは、運営委員の朴順子さん、設楽春樹さん、取材陣の倉林、瀧口、長谷川。総勢11名の賑やかで楽しい座談会でした。



ったからです。会計学を勉強していましたので、大学院に進学したい。中国は経済発展しているが、公平性がない。日本の桜はほんと美しい。

黄さん(男性): 上海

出身。学生の途中から北京に移り一人暮らしをしていましたが、殆んど学校に行かなかった。あまり学びたいことがなかったからです。おばさんが日本でレストランをやっています。テレビで日本の「里山」のドキュメンタリーを見て憧れて、日本国中を旅行したいと思って来ました。高崎経済大学めざしています。観光と環境問題をやりたいと思っています。

劉さん(女性): 吉林省出身。現在、高崎経済大学4年生。叔父が高崎に住んでいます。日本のアニメが大好きで、それ以外あまり目的もはっきりしなくて留学しましたが、卒業後も日本で働きたいと思うようになりました。夢がかなって、前橋の(大手)販売店に就職内定しました。(みんなの拍手!)

まず、自己紹介をお願いします

肖さん(女性): 大連出身。姉が韓国に留学していたので、友人の紹介で来ました。高崎経済大学に進学して、将来は旅行関係の仕事したいと思っています。

杜さん(男性): 杭州出身、上海の近くです。中国の大学で日本語専攻して、旅行会社に1年半ほどいました。でも若いうちに他国に住みたいと思って日本に来ました。やはり旅だけ

ではその国はわからないから。

張さん(男性): 上海出身。5月に来日しました。日本は安心して勉強できると思



学費や生活費は

みなさん奨学金とアルバイトでまかっています。4人とも学校からの推薦で、日本の外国人支援機構から奨学金を受けています。杜さんは旅行会社で働いていた間の貯金も役立っているようです。アルバイトは、コンビニ、スーパー、工場、飲食店の厨房など。張さんは公民館の中国語の講師もしています。

アルバイトでは苦労もあると思いますが

◎コンビニには色々な人が来ますから、みんな優しい人だけではないということを知りました。中には私がうまく言えないでいると怒ってしまう人もいます。あなたがいるから買いに来たんだ



よという優しいおばさんもいるけど。

◎日本人は仕事には厳しい。仕事が遅いと怒られる。でも生活面で

はやさしい。中国では人間関係が冷たい。競争が激しいから。

◎調理場で働いていた時、50歳くらいの人でしたが、自分はタバコ吸いながら見てて早くしろと怒鳴られていました。一年間くらいして、がまんできなくなって、けんか売ってる感じなのでそう言いました。そしたら自分は言われなくなって、別の女の子にまた言っていました。弱そうな人をいじめるんです。

日本に対するイメージ…来る前と来てからとでは、どう変わりましたか

◎私はアルバイトしたことなかったのですが、お皿さえ洗えなかったし包丁の使い方も知らなかった。(一人っ子政策で、親に大事にされて育てられているようだ。)日本の高校生は皿洗いなどよくできると思いました。

◎メディアを通して見た日本は、いい点もあるけど、靖国神社参拝とか歴史を変えたりして、日本の自衛隊も強そうだし、危険そうだと思っていた。でも一年間ぐらい日本で生活してみたら、日本人はほかの国をもう一度侵



略しようなんて考えていない、ただ自分の生活だけ考えている、そんな危険な国じゃないと思えてきた。

◎私は日本に来る前から日本が大好きだった。それは日本のマンガや桜や美しい景色などでした。日本に来てから日本人とつき合ってみて、日本はどんな国か感じるものがあります。日本人の仕事に対する態度にとっても感動します。例えば今日の午後、私がアメリカにFAXする時に、学校の先生がお昼も食べないで私の問題を解決しようとしてくれて、感動しました。今、中国ではどんなことでもお金です。それが私はいやになっています。中国の子どもへの教育は反日的だけど、日本は私たち留学生に対して援助してくれている。もう第二次世界大戦のことは忘れたほうがいいと思う。

日本の生活で困っていることは？

◎物価が安くなるという。

◎自分の考えを日本語で言える(発表できる)機会が欲しい。

◎電車代が高い、終電が早い。(ちなみに黄さんは、電車に乗ってあちこち廻り、車内で人間観察することを楽しんでいる。)

ズバリ…最近の日中関係について、どう思いますか

◎大連では、日本の会社も沢山あるけど、そういうこと(日本の商社が攻撃されること)は発生していなかった。

◎上からやらされているデモだと思います。中国では自発的にそんなことはできないと思う。国への不満をそちらにぶつけている面もある。

◎中国人は小学校から大学までずっと愛国教育を受けていますから、報道されたらワーストと爆発する。それは「愛国族」で本当の「愛国心」とは違う。日本

の方が愛国心が強いと思います。去年の大震災の時、私は日本に来たばかりでしたが、家の前は（節電のために）電気がついていなかった。それを見てすごく感動しました。

◎中国と日本は隣の国ですから、隣の国でトラブルがあるのはごく普通のことだと思います。

例えばヨーロッパ大陸のフランスとドイツではずっと何百年も戦っていた。デモは普通の権利ですけど、犯罪みたいなデモは絶対許されないと。中国人はそんな馬鹿な人ばかりじゃないということ、日本の人々に知ってもらいたい。特に民間の企業を攻撃するというのは弱さの象徴じゃないかなあと。自分たちの方が人数多いから、少ない方を攻撃するというのは。

◎中国も格差が大きくなっています。農村だと電気もついてない所もあるし、都市では食べ物を残して捨てて



いる。そういう格差に対して、政府の手が届かないところがあると思います。そういうところを変えてほしいです。難しいですね。

◎多くの中国人は日本に行ったことがないので、日本への考え方は極端です。私たちが日本に来て実際に見たことを国にいる中国人に伝えると、彼らの考え方も変わる可能性があると思います。物事には二つの面があります。例えば日本のマンガは暴力的だと言いますが、それは一面で、日本の子供達は夢を追って一生懸命やっています。

日本人の友だちを沢山つくいなさい …先輩の劉さんからのアドバイス

私も日本人の友達がいなかったの、大学に入ってからもはじめは中国の留学生だけでつきあっていましたが、こ

のままでは日本に来た意味がないと思って、2年生になってからからは、サークル（DNA）に入って活動したり遊びに行ったりして日本人の友達をつくりました。皆さんも日本人の友だちをたくさんつくってください。

だんだん皆さん打ちとけてきて、冗談も飛び交う楽しい時間…あつと言う間に過ぎてしまいました。以下は、時間がなかったので、後日、書いていただいたものです。

日本の若者に対して、どう感じましたか

◎テレビとかを見ると、いじめが多いらしいです。歴史観自体、自分の国の立場を優先にして書かれるものだから、どの国の歴史も不公平だと思います。

◎日本の若者に接触することが少なかったの、あまり答えられませんが、日本の若者と中国の若者に比べると、ちょっと物質的の欲望が低いと感じました。そして穏やかな生活を望んでいるような気がします。これは別に悪いことではないと思います。近代・現代のアジアや日中間戦争の歴史は、長い間ずっと共産党の功績として国をあげて宣伝されていますから、中国の若者は確かにこれらの歴史について詳しいと思います。その一方、世界諸国の民主化の歴史はあまり知らないのも事実です。日本の若者も日中関係の歴史に関心を持ってほしい。

◎感じたことは、日本の若者がほかの国の事情をだんだん知らなくなってきたことです。例えば、バイト先の日本人の大学生は上海が中国の

どこにあるか分かりません。昔の日本は中国やアメリカなどの国をよく学んで、ほかの国の長所を取り入れてだんだん強くなりました。今の日本は強くなりましたが、その精神は失うべきではないと思います。近代・現代



のアジアや日中関係の歴史については、昔の戦争や紛争を知らなくてもいいですが、中国と日本の若者は両国の伝統的な文化をもっと理解すればいいと思います。例えば、孔子などの思想家に興味を持つ若者は中国でも日本でも少なくなってしまうかもしれません。

これからの日中関係、どうしていけば良いと思いますか

◎日中関係をよくするために、お互いに相手がある程度認めることが大事だと思います。ただ相手を無視する、また欠点だけ見つめるのはだめです。いつかわからないが、日中友好の日は必ず来ると信じています。

◎日本・中国だけでなく、アジアの国々と、近代史の部分だけでも、お互いに理解できる歴史認識を持つ教育をして、もっと心を開いて隣の国々のことを工夫したほうがいいと思います。また悪い方向に行くより、良い方向を目指して行く姿勢が必要です。

◎国の立場は、安倍総理大臣は正しい政策をした方がいいと思います。私たちの立場は、できれば（日本・中国の中に流れている悪いニュースや新聞など）気にしない方がいいと思います。私たちもできれば中国に帰った時、ちゃんと国の人たちに、中国人が見たニュースと違うことやイメージした日本人の様子と違うことを説明してあげますが、日本人の人たちも色が付いているめがねをかけないような態度で中国人を見てもらいたいです。

◎日中関係はよくなるかどうかは、日中の普通の市民同士の交流が大切だと思います。今中国で政治的な報道が多くて、日本がどんな国なのか知らない中国人がたくさんいます。ドラマやアニメだけではなくて、日本人の精神的なもの、例えば日本の礼儀、思いやる気持ち、仕事に一生懸命やる武士道精神を中国に宣伝したほうがいいと思います。両国の善良で正直な人民の共同の努力で、きっと日中友好が築けると信じています。

座談会に参加して (朴順子)

座談会はとても楽しくて、もっともっと話したかったですね。中国人留学生の若者が素直に自分を語り、祖国の現実を憂い、ありのままの日本を公平に見ようとする姿勢に明るい未来を感じました。

人と人との関係もままならない世の中であって、国と国との関係を良くしていくのはとても難しいこと。ましてや歴史認識までも異なるのですから。でも、こんな風にお互いの国を歩き来しながら見えてくるもの、感じる心を大切にしていけばきっと道は開ける！と、徐々に清々しい気分になりました。

若者はやはり、いろんな国へ行って自分のアイ

デンティティに目覚めてほしいですね。中国人留学生の皆さん、ありがとうございました！お体に気をつけて頑張ってくださいね。



取材後記

私たちフォーラムのすぐ近くにこれほど熱心に日本語を学んでいる留学生がいることに驚きました。座談会では短時間でしたが留学生の率直な声を聞くことができました。祖国を遠く離れて飛躍の道を切り開こうとする自立心に圧倒されました。読者のみなさんに彼らの熱い息遣いをお届けすることができたでしょうか。ぜひご意見をお寄せ下さい。

取材に際して留学生のみなさん、清水学院長さん、金井先生、職員の坂上さんにご協力いただいたことに心より感謝いたします。

【取材・撮影・イラスト：倉林順一・

設楽春樹・瀧口典子・朴順子・長谷川陽子】

